

技術概要書（様式）

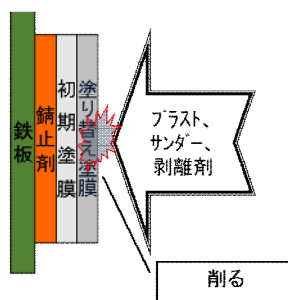
※別紙2

技術分類	安全・防災 維持管理 <input checked="" type="radio"/> 環境 <input checked="" type="radio"/> コスト ICT 品質 （該当する分類に○を付けてください）											
技術名称	エレクトロリムーバー	担当部署	営業部									
NETIS登録番号	QS-160043-A	担当者	重信 康夫									
社名等	ビルドメンテック株式会社	電話番号	093-483-3555									
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>鋼製橋梁を含んだ鋼製構造物の塗装塗膜に錆止め剤に含まれる鉛や上塗り塗膜に含まれるPCBが問題になっており、これらの塗膜を従来工法の電動サンダーやブラスト工法を使用すると粉塵化し鉛中毒やPCB中毒の危険性があるため、粉塵化しない湿式の剥離材工法が主として使用されている。</p> <p>しかし、剥離材は塗布後の養生時間が24時間以上必要であり、一度の塗布では剥がれないため数度繰り返し施工しなければならない現状がある。また、産業廃棄物の質量が増える事でコストが嵩む事や処分方法に課題がある。弊社が工事を行う中でこれらの問題を解決できる電磁誘導加熱を利用したエレクトロリムーバーを開発した。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>エレクトロリムーバーは、電磁誘導加熱で鋼板を直接加熱して塗膜を剥がす工法である。剥がれる原理は、鋼板が加熱される事により熱が塗膜に移行しプラスチック化した塗膜の組織が軟化し鋭い刃のスクレーパーを使用すると塗膜を切るように剥がれていく工法である。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>エレクトロリムーバーを使用すると塗膜中の有害物質が飛散しないので、周辺養生が簡素化でき排出ガラム塗膜重量のみになるのでブラストや剥離材に比べると大幅な産業廃棄物のコストダウンができる。</p> <p>周辺環境、作業環境が改善され産業廃棄物の出荷量の低減と処分費の低減効果がある。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>鋼製橋梁や鋼製構造物の塗り替え工事における塗膜除去工事に適している。</p> <p>5. 活用実績</p> <table border="0"> <tr> <td>国の機関</td> <td>0 件</td> <td>（九州 0件、九州以外 0件）</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>0 件</td> <td>（九州 0件、九州以外 0件）</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>1 件</td> <td>（九州 1件、九州以外 0件）</td> </tr> </table>			国の機関	0 件	（九州 0件、九州以外 0件）	自治体	0 件	（九州 0件、九州以外 0件）	民間	1 件	（九州 1件、九州以外 0件）
国の機関	0 件	（九州 0件、九州以外 0件）										
自治体	0 件	（九州 0件、九州以外 0件）										
民間	1 件	（九州 1件、九州以外 0件）										

6. 写真・図・表



【現工法：
プラスト、サンダー、溶剤】



【BMTエレクトロリムーバー】

